

nano コマンド

- 読み方：ナノ
- 意味：テキストエディタ（GNU nano）
- 用途：ターミナル上でテキストファイルを編集するためのコマンド

利用環境

LinuxやmacOSのターミナル、WSL、Git Bashなど（Windows単体環境では通常利用できないが、WSLやGit Bashを通じて利用可能）

基本操作

1. 新規作成または既存ファイルを開く

```
nano ファイル名
```

- 確認コマンド：ファイル内容を表示（cat コマンド）

```
cat ファイル名
```

- 実行結果の例

```
Hello World
```

2. ファイルを編集して保存する

- 編集後、保存する場合は `Ctrl + O` → `Enter`
- 編集を終了する場合は `Ctrl + X`

3. 保存せず終了する

- `Ctrl + X` を押した後、保存確認で `N` を選択

よく使うショートカット

1. 編集内容をファイルに保存する

```
Ctrl + O : 保存 (Write Out)
```

2. nano を終了する（保存するかどうか確認される）

```
Ctrl + X : 終了 (Exit)
```

3. ファイル内で文字列を検索

`Ctrl + W` : 検索 (Where Is)

4. 現在位置 (行番号・列番号) を表示

`Ctrl + C`

その他オプション

1. `-l` (linenumbers) : 行番号を表示して起動する

```
nano -l ファイル名
```

→ 左側に行番号が表示される状態で編集可能

2. `-c` (constantshow) : 常にカーソル位置を表示

```
nano -c ファイル名
```

3. `--help` : nanoコマンドのヘルプを表示

- 利用可能なオプションを確認できる

```
nano --help
```

以上